

## 里式可動ドール素体120cm

イベント等でのディスプレイ 市販の服を使用できるデッサンドールとして  
使用するためにモデリングした等身大可動ドール素体です。

ボルトで締めて固定調整ができるボールジョイント関節をもっています。

重量は1kg程度と軽量で、持ち運びがしやすい仕様になっています。



## 注意

完成品ではありません。あくまでも素材となります。  
組み立て作業を要します。この説明書を読んだ上、  
可能だと思える方のみご購入ください。  
組み立て、塗装などに対するサポートはありません。  
オンデマンドの3Dプリント造形物ですので返品はできません。  
組み立てには少なくとも、ニッパー、瞬間接着剤、ボルト、  
ドライバーなどが必要になります。  
衣装、ウィッグ等も別途ご購入してください。

ナイロン3Dプリント造形物は  
とても頑丈な素材ですが、  
表面はざらざらで粉っぽく、  
積層跡が目立つ場合もあります。→  
洗浄、研磨、塗装などの表面処理が  
必要となります。



組み立て自体の難易度は高くありませんが、塗装、表面処理には  
ガレージキットフィギュアを組める程度の技術が必要です。

にもかかわらずこのお値段。ものに対してかなり高額です。  
容積に比例して造形費がかさむサービスなのでこうなりました。  
正直、オススメはしませんです。ご奇特な方のみどうぞ・・・。

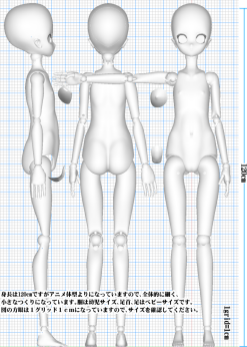
等身大でありますので、戸外に持ち出すと目立ってしまいます。  
公序良俗に反する使用、迷惑行為、誤解を招く行為などへの使用は  
厳に謹んでいただきますよう、おねがいします。  
ラブドールではありません。性器の造形、ホールなどはありません。  
食品にふれる用途には使用しないでください。

造形物素材、3Dデータの著作権は里好にあります。  
複製販売、複製品素材としての使用は禁止します。

©2017 Sato Yoshimi

## 各部サイズ

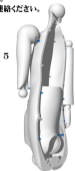
ウィッグは大人用、種は12cm程度のベビーシューズ  
服は70-100程度の幼児服を着せることができます。  
実際の人間よりも細身なため、安全ピンなどでの調整を要します。



身長は120cmですがアニメ体型よりになっていますので、全体的に細く、  
小さなつくりになっています。服は幼児サイズ、足首、足はベビーサイズです。  
図の方眼は1グリッド1cmになっていますので、サイズを確認してください。

1gr10=1cm

届く素材は7つのパーツにまとまっています。  
届きましたら、まず欠品がないか確認してください。  
欠品があった場合はその旨をプリントストアにご連絡ください。

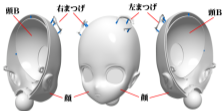


まとまったパーツの各部うちわけです。

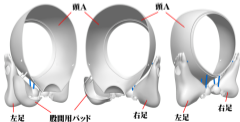
図の青い部分は不要なランナーです。ニッパーなどで切り取ってください。切り取る前に各部パーツの目立たない所に名称を書いておくとよいです。パーツ表面、隙間に3Dプリンタのナイロンパウダーが残っていますので、マスクをしてブラシをかけるか、水で洗淨したほうがよいでしょう。

---

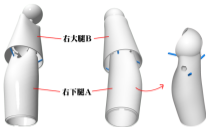
1



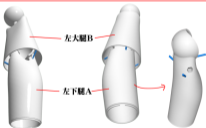
2



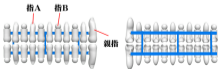
3



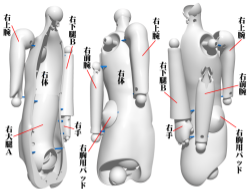
4



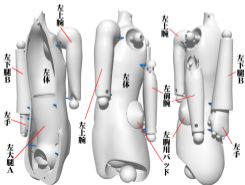
7



5



6



## 組み立て



screw bolt & nut

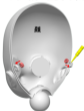
なるべく小ねじを使用します。  
太さは4mm長さは25mmと35mmを  
それぞれ10本程度用意してください。  
小ねじだと穴に入らない場合があります。



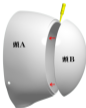
glue

染みこみやすい低粘度の  
瞬間接着剤をたっぷり  
塗り込むとよく食い付きます。  
アロンアルファEXTRA  
あたりでしょうか。

1. 顔の裏の受け口にナットを接着します。  
ナット内部の溝に接着剤が  
つかないように注意してください。

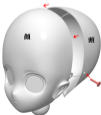


2. 顔A 顔Bを接着します。



3. 顔と顔A/Bを  
かばっとはめて、  
ねじで固定します。

かばっとはめる際は  
首の位置からはめると  
スムーズにはまります。

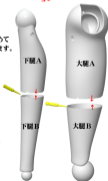




4. 右体と左体を接着します。  
 段差ができないように一部分ごとにとめてから  
 全体に接着剤を流し込みましょう。  
 接着できていない部分があると増設機にヒビが  
 はいってしまうので、念入りに接着します。  
 必要な場合は胸パッド、股間パッドを  
 適当な場所に接着します。  
 これも念入りに接着してください。



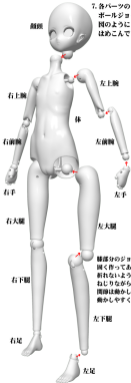
5. 大腿A Bと  
 下腿A Bを  
 ぎゅっとはめて  
 から接着します。



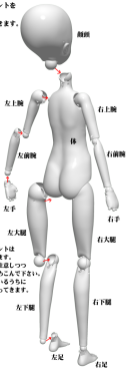
6. 各指パーツを  
 左図のように  
 つけていきます。  
 ぎゅっとおしこめば  
 はまるように  
 なってます。

7. 各パーツの  
ボールジョイントを  
図のように  
はめこんでいきます。

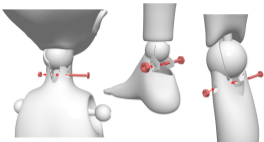
顔面



顔面



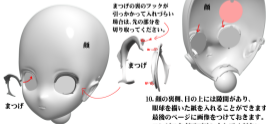
膝部分のジョイントは  
固く作ってあります。  
折れないように注意しつ  
つおなじりながらはめこ  
んで下さい。  
関節は動かしているう  
ちに  
曲かしやすくなってき  
ます。



8. 各関節のボールジョイントには六角形のねじ穴がついています。これにねじとナットを入れ、ナットを棒などでおさえつつ、ねじをドライバーでしめていくと、関節が固く保持されるようになります。ナットは穴の中に接着してしまった方が楽かもしれませんが、ボルトをあまり強めにしめすぎると、破損します。

9. まつげはお好みで塗装してからつけてください。

2箇所にあるフックをまぶたの裏に引っ掛けるようにして固定します。



まつげの裏のフックが引っかかって入れづらい場合は、先の部分を切り取ってください。

10. 顔の裏側、目の上には隙間があり、眼球を描いた紙を入れることができます。最後のページに画像をつけておきます。コンビニなどでプリントしてください。

顔線のある方はこれを覆わず、ペイントしてください。  
人間用つけまつげを使うという方法もあります

## 表面処理について

先ずは合わせ目の隙間、段差をエポキシパテや瞬間接着剤で埋めます。  
それが固まったら、ランナーを切り取って高く張っている箇所とともに  
ヤスリでならします。ただ、ナイロン素材は頑丈なのでヤスリが負けてしまいます。  
なるべくちゃんとしたメーカーの耐水ペーパーを使うことをオススメします。

三月理化学株式会社FJ1033「マジック研磨式研削紙ハイビッチペーパー」を  
同社の「マジックヤスリ対応マジックスポンジファイル」に貼り付けて使うのが、  
回りやすく磨きやすいのでオススメです。ホームセンターで数十円で購入できます。  
あとは、小さいですがGUMIWORKのカミヤスも頑丈なのでオススメです。

ナイロン素材はヤスリがけすると細かくケバ立ちます。  
フィルムやすりで研削しまくればつるつるになるそうですが、大変です。  
塗料を重ねて解を作り、それを研削したほうがよいでしょう。

ホワイトサフかキヤラクターフレッシュサフを吹き、研削し、吹き、研削し…  
これを繰り返していくのが一番いい方法かと思えます。  
(ただ、一層目は粗サフを刷毛塗りしたほうがよいです。)

が…大型造形でこれをやると、近所迷惑な臭気が発生します。  
モノが大きいの、缶サフでも5〜10本は使用します。  
大きな塗装ブースを所持しているか、屋外作業ができる方以外は無理でしょう。  
水性アクリル塗料、ジェッソ、樹脂塗料などを刷毛塗りしていくのが無理です。  
室内用無臭ペンキもよく食いつきますので、それを使うのも手かと思えます。  
解を厚くするにはそれら塗料に充填剤としてタルクを混ぜるとよいです。

カンペハビオの水性塗料sunoのピンクは調色の必要がなく顔色としてそのまま使え、  
水性のくせに耐水性が強く、水濡しができるので、けっこうオススメです。  
私はこの塗料に同量のタルクを混ぜ、少々の水を加え、5回ほど重ね塗りします。

塗装表面が乾いてすぐに硬めのペットボトルなどでこしこしすると、  
ケバ立ちをならすことができます。塗装一層目でを行うとよいでしょう。  
塗装し、研削し、表面がなれてきたら、刷毛目がかないように  
塗料を希釈して何回か塗り重ね、目の細かなヤスリで仕上げるとよいでしょう。

ボールジョイント部分に塗料を重ねると、はまらなくなったり、  
剥がれてしまいますので、塗らないか、一解程度にしてください。

大変です…がんばってくださいまし。

型式可動ボール素体120cm用眼球シート

A4サイズでプリントしてください

